



*promoting UK Creative Industries for export*

*BRITISH EUROPEAN DESIGN GROUP*

*25 Stanmore Gardens, Richmond, Surrey TW9 2HN UK*

*T +44 (0)20 8940 7857 F +44 (0)20 8948 2673 E info@bedg.org*

*http://www.bedg.org VAT Reg 778 5204 00*



ブリテイッシュ ヨーロピアン デザイン  
グループ エグジビション

THE BRITISH EUROPEAN DESIGN  
GROUP EXHIBITION

近代伝統への視野  
VISIONS  
OF A  
MODERN HERITAGE

ブリテイッシュ ショーケース  
A showcase of British

テキスタイルデザインへの創造性

INSPIRATION IN TEXTILE DESIGN

インテリアライフスタイル 2010年6月2-4日、開催地：東京  
INTERIORLIFESTYLE TOKYO 2 - 4 JUNE 2010

主催：ブリティッシュ ヨーロピアンデザイン グループ  
Curated and organised by the British European Design Group

後援：UKTI クリエイティブ&メディア  
Supported by UKTI Creative & Media

スポンサー：インテリアライフスタイル 東京  
Co-sponsored by interiorlifestyle Tokyo



interiorlifestyle  
TOKYO

## プレスリリース PRESS RELEASE

### 近代伝統への視野 VISION OF A MODERN HERITAGE

テキスタイルへの創造性—ブリティッシュ ショーケース  
A showcase of British Inspiration in Textiles

人間がこの世に存在し初めてから、日常生活において3つの必要不可欠なものがあると言われていた。物質としての「衣」、生きるための「食」、保護のための「住」。「衣」は最初、自然の逆境のため身体の防御のためだったが、その後人間は、社会的地位、センス、ファッションの証として着飾るためのものとした。衣服は故に唯一の膨大な織物やテキスタイルの世界の活用である。

クロエ・コルチェスターのテキスタイルに関する新刊によると「テキスタイルのデザインと製造は最も古くからある人が行う産業のひとつである。しかしテキスタイルがいくら古くからの活動とは言え、保守的なものではない。人類の文化において、織物の重要性は技術的、芸術的發展に最先端であると確信する。」とある。

例えば、自然処理、また今日では人口繊維や織物ははかり知れず、しばしはかりしれないもので、私達の生活の中で他に置き換えられないものである。機械織りはおそらく世界最大の小屋産業であり、又、全機械工程された最初の産業でもある。スピニング・ジェニーは産業革命に乗り出し、合成繊維の出現は織物に対する私達の考え方や取り組み方に大改革をもたらした。技術発展は、新しいアプリケーションの作成の代わりに合成品工学やマイクロエレクトロニクスという新しい科学を築き上げた。

日本と同様にイギリスでは繊維、テキスタイル技術の改新、そしてデザインにおいておそらく、他のクリエイティブ分野よりも昔からの強い伝統がある。忘れてはいけないのが、V & Aにおける有名ナリバティーの柄とトリカ・ギルドのギルドホームテキスタイルコレクションのウィリアム・モリスの展示である。パンクとストリートスタイルがゴム製品からリサイクル製品と多様な素材に驚くほど加えられ、コンピューター世代が新しいパターンの世界の扉を開けたと言えるだろう。

そして日本では刺繍縫い、染物、プリント、プリーツ加工、そしてキルティングという刺繍の品位が、天皇や皇室の為複雑な刺繍が施されている衣、幻想的に侍の強いレイヤードの身体の鎧から、一度水浸しにすれば燃えつく炎からも保護する日本の消防士の頭巾付仕事着まで広がっている。

また日本と同様にイギリスでは品位の重要性は現代の生活に大量製造技術の発展に関係なく生き抜いている。その反面、衣類やホームテキスタイルどちらのテキスタイルは個人の手作業商品が受け入れられ、絶賛される最小消費商品のひとつでもある。

それにしても、二国のスタイルやデザインは異なる方向へと向かって行った。日本では未だに外観デザインへのアプローチに関して大和的イメージと美的な気品が共に深くしみ込んでいる。反面英国では、次世代イギリス人と訓練されたデザイナー間の一般的な伝統は、彼らの文化において、古典的ヴィジュアルの品性が不敵に無関心とされた。これはスクリーン印刷された壁紙の都市スラム街のイメージから18世紀の稀な杉のフランスの生地および壁紙デザインの影で、美しい鑄鉄の公園のベンチで荒眠っているホームレスの流離いまで拡大される。

デザイナーのための経済的関連性の革新は、クリエイティブ産業のセクターにおいて中小企業の驚くべき発展が注目される。小規模な仕事が、商取引の搾取によるコピーとして大量生産の可能性を保護し、クリエイティブな才能は過去40年間国民経済の中心として、中小企業サイズのビジネスとして確保されてきた。

ショーケース、「近代伝統への視野」は上記にあるように、多様性を持つオリジナルパターンからハンドプリント、そして刺繍生地による外観とテキスタイルの数少ないデザイナーの仕事である。彼らは自然、テクノロジー、旅、リサイクル、人気カルチャーによって感動を与え、イギリスの素晴らしい多文化デザインの多様性の才能を披露する。

2010年4月、ロンドン London, April 2010